フィリピン支援だより(最終)再び7スピリットへ 3月17日

絵「私の夢」を手にパートナと記念写真

スラムの子どもの願いを聴きました

3月10日の「日本文化交流」に続いて、 スラムの生活状況や将来の夢をインタビュー しました。帰国後に生活状況と伝える新たなボラ

ンティアを試みました。 10 時、セブンスピ リットの建物に着く と、日差しを避けて 軒下に数家族が寝て います。貧困の現実 を目にし、2階の教 室に上がります。



ホームレスの家族が増えていました

夢を絵にしてみよう

アート交流から聞き取りを始め ました。美術・音楽の授業がない (また学校に通えない) 子どもの 絵は、鉛筆で描画するだけでした。 留学生が、色鉛筆などで彩色をア ドバイス。みるみるカラフルな 「私の夢」が出来上がりました。



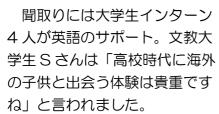
「すてきな絵に色をつけてみようね」



「いまこまっていることはなに?」

インタビューを終えて

半数以上の子どもの夢は、医師・ 看護師。他に経営者・軍人歌手・先 生もみられました。田中 NPO 代表 は、「生活体験が乏しく、家族の 病気で通院した時に優しくされた思 い出が残る」と話しました。



帰国後、留学生は子どもの声 のレポートを地域に報告します。 「すべての子どもに学ぶ機会 を作る活動」へのご支援よろし くお願いいたします。



聞き取りのようす

サポートしてくれた なつきさん(洗足大)



毎年、家賃 10%値上げで未修理ままの天井





インタビューを終えて 語らいの時

(終わり)